

広島地域の取り組み

広島電鉄株式会社 代表取締役社長
仮井 康裕



広島地域の公共交通について



広島電鉄（バス）
513両



広島電鉄（電車）
136編成



広島高速交通
（アストラムライン）



JR西日本
山陽本線など



広島バス
199両



エイチ・ディー西広島
28両



芸陽バス
110両



広島交通
189両



JRバス中国
80両



※ 画像は各事業者および広島県バス協会のホームページより引用

※ JRバス中国の車両数は広島地区乗合事業の保有車両数

広島駅大橋ルートへの整備





POINT

スマートフォンアプリで
らくらく乗り降り

“MOBIRY DAYS”は
スマートフォンのアプリで
表示するQRコードをかざして
乗り降ります。

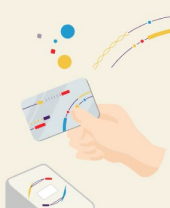
※QRコードは（株）デンソーウェーブの商標登録です。



POINT

専用ICカードでも
利用可能

スマートフォンを
お持ちでない方は、
専用の新たなICカードを
ご利用いただけます。



POINT

スマートフォンや
Webサイトで決済
かんたんチャージ

残高はスマートフォンアプリや
Webサイトからログインし、
いつでもどこでもチャージできます。

※メンテナンスのため、2:00～4:00はご利用いただけません。

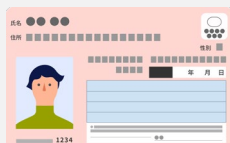
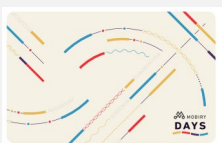


POINT

いつでもどこでも
定期券を購入

定期券の購入や更新も
スマートフォンアプリや
Webサイトからいつでも行えます。

※メンテナンスのため、2:00～4:00はご利用いただけません。



（広島電車のお支払い方法と運賃額）
（普通乗車運賃/大人）

2月1日(土)～ 3月30日(日)～

MOBIRY DAYS

現金・ICOCAなど 全線均一 240円

最大90円割引になるのは MOBIRY DAYS だけ！

宮島線 MOBIRY DAYS 運賃 (2025年2月1日現在)

220	220	220	220	220
150	170	200	210	220
150				

宮島線MOBIRY DAYS運賃の実施

現金・ICOCA等は全線240円均一として分かりやすい運賃を実現しつつ、MOBIRY DAYSは区間運賃制を採用し、地域住民が乗りやすい運賃制度を実現



乗車リーダー

兼用

降車リーダー

電車 全てのドアからの降車を実現

設定一つで乗車・降車の両方に利用できる車載機器としており、電車の旧型車両も含めて、全てのドアで降車扱いが実現。今後、安全性を担保しながらバス車両での扱いも試行していく

地域独自の柔軟な運賃施策 高齢者・障害者への割引施策の実施

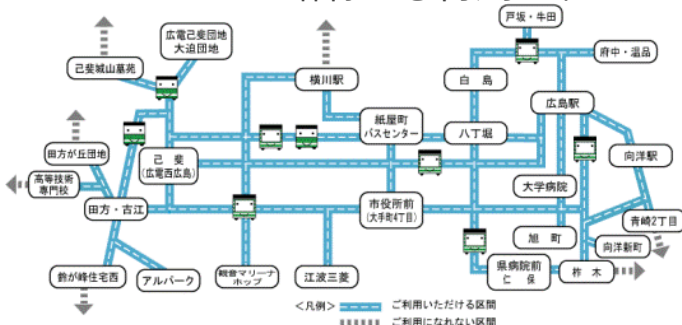
- 呉市 高齢者は100円/1回、障害者は無料
- 廿日市市 70歳以上の廿日市市民が連携
宮島訪問税非課税対象者の登録・連携
その他コミュニティバス等向けの優待施策機能あり



定期券のサービス向上① — 広島シティパス

○エリア定期券

エリア内ならどの路線でも利用可能



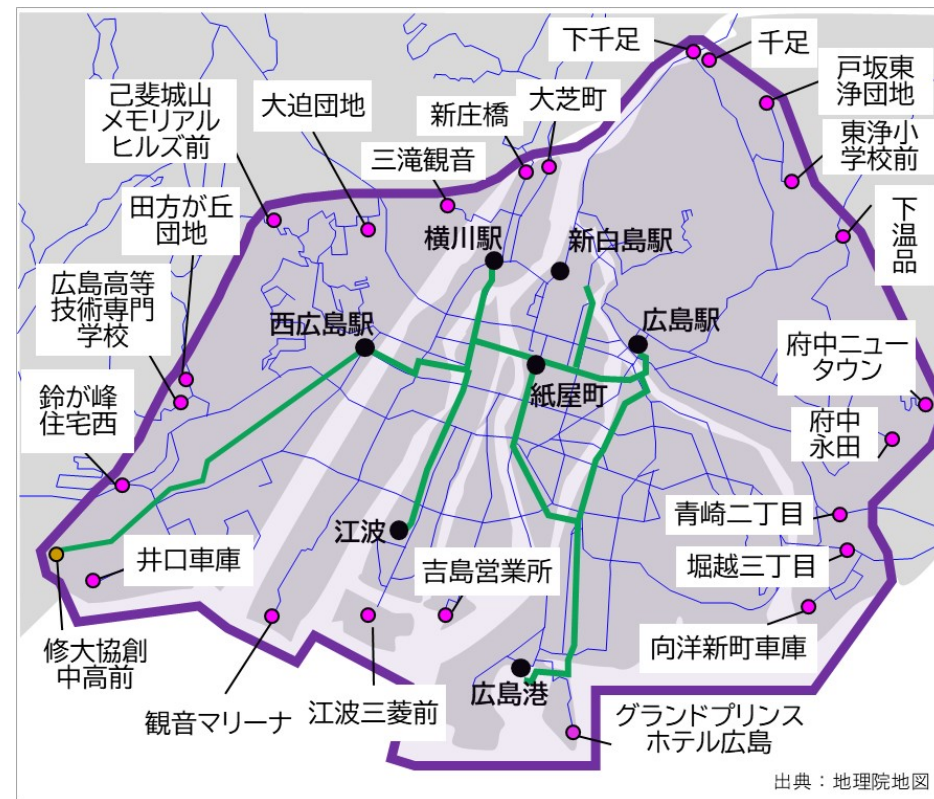
○共通定期券

同一区間ならどの事業者でも利用可能



◎広島シティパス

エリア定期券と共通定期券を組み合わせた定期券



出典：地理院地図

● 広島シティパスワイドエリア

— 路面電車

● 境となる電停とバス停

— バス



定期券のサービス向上② — 金額式定期



バス協調・共創プラットフォームひろしま

プラットフォームの使命

“わかりやすく使いやすい交通を実現し、広島の未来に積極的に貢献する”

10年後に実現したい未来の姿

質の高いバスサービスと経営の安定化

誰もが快適に移動できるまち

都市の持続性向上と経済活動の活性化

利用者から信頼され、誇りを持てるバス事業

一利用者数5割増へー

未来の姿の実現に向けた6つの戦略

01 利用者目線での徹底したサービス向上

02 まちづくりと一体となった移動需要の創出

03 サービス水準に基づく持続可能なバスネットワークの構築

04 運転者の安定的確保やリソースの共有等による経営の安定化

05 利用者とのコミュニケーション強化による信頼関係の構築

06 将来を見据えた新技術等の導入と災害時等におけるレジリエントなシステムの構築

法定協議会(バス事業分科会)

公平・中立な第三者機関

- ・目標とするサービス水準の設定
- ・運行等改善計画の承認
- ・取組状況の評価

承認・評価 提案・報告

バス事業者8社

運行サービスの提供

- ・事業者間の協調による利用者目線でのサービス向上
- ・収支改善による経営安定化

運営負担金

インフラ資産のリース料

バス事業全体を
下支え

- ・事業者単独ではなしえなかった取組の実現
- ・インフラ資産のリース

(一社)バス協調・共創プラットフォームひろしま

全体最適化に資する多彩な共同事業を推進

行政が伴走することで公益性や実効性を確保

路線の最適化

- ・路線の重複の解消やフィーダー化、ダウンサイジングなど

リソースの共有化

- ・EVバス車両や庫車等のインフラ資産の整備・管理

運転手の安定的確保

- ・離職防止と採用強化のための労働環境の改善など

利便性の向上・利用促進
(シームレスなサービスの実現)

- ・バス停の待合環境整備やバスロケーションシステムの高度化など

新技術の導入

- ・バスの自動運転化、AIを活用した事務の効率化など

【組織体制】 バス事業者 市 運輸局(7D・バザー)

社員総会

組織的事項の意思決定

社長会

重要事項に係る意見交換

理事会

重要な業務執行の決定

企画立案部門

共同事業の実施に係る調整機能

事務局

企画立案部門での検討や共同事業の実施をサポート

- ・社員総会等の法人組織に、企画立案部門や社長会といった調整機能を組み合わせて業務遂行を円滑化
- ・理事にはバス事業者各社の取締役級職員及び市の道路交通局長(理事長)を充て、事務局には事務局長以下12人の常勤職員(市:9人、バス事業者:3人)を配置
- ・事務局は、旧広島商工会議所ビルディング(中区)に設置予定

広島市

法人の運営を支援

共同事業への財政支援

社会資本整備総合交付金等の国の支援メニューを最大限活用

運営負担金

